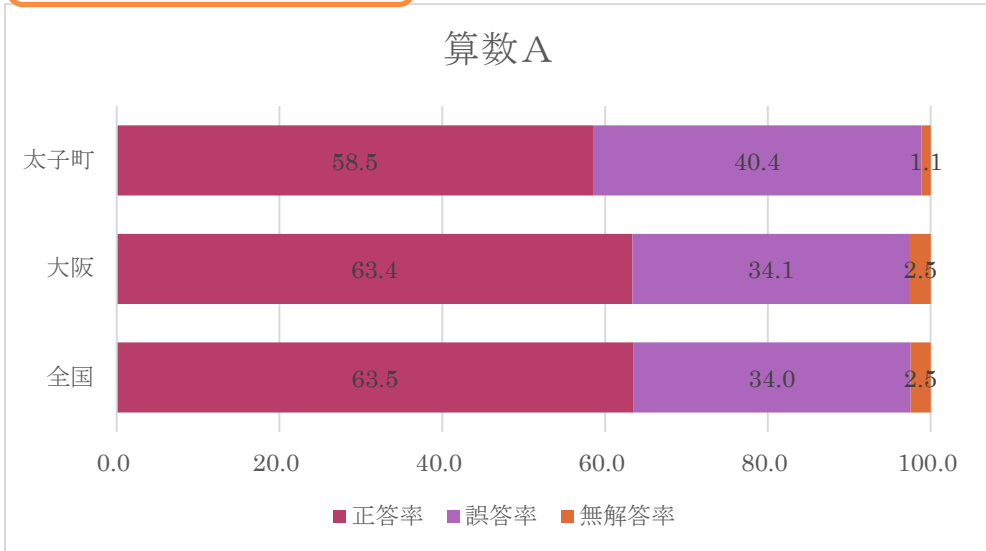


平成30年度 全国学力・学習状況調査

算数 A

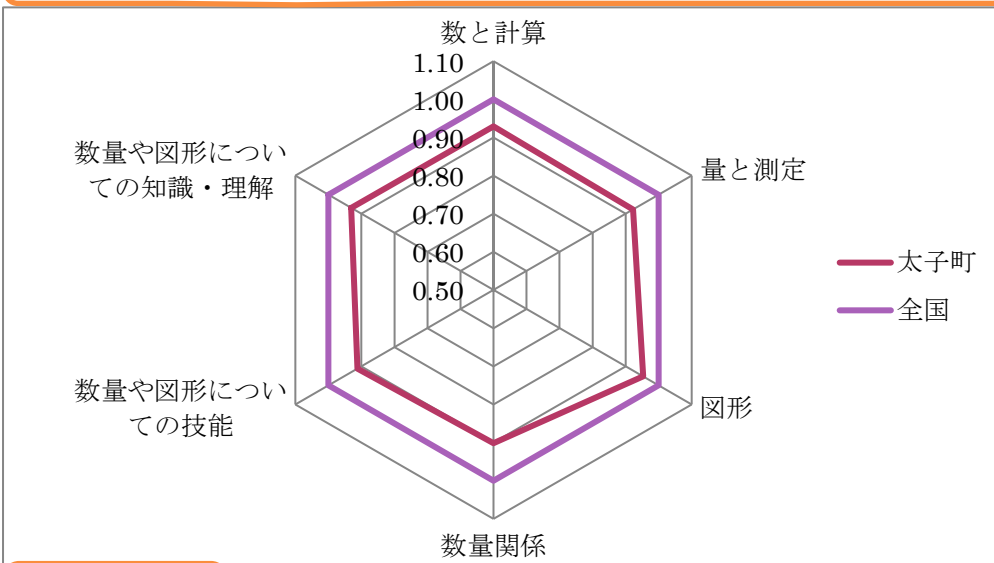
正答率比較



全国の平均正答率が63.5%であるのに対し、太子町の平均正答率は58.5%であり、-5.0ポイントという結果であった。



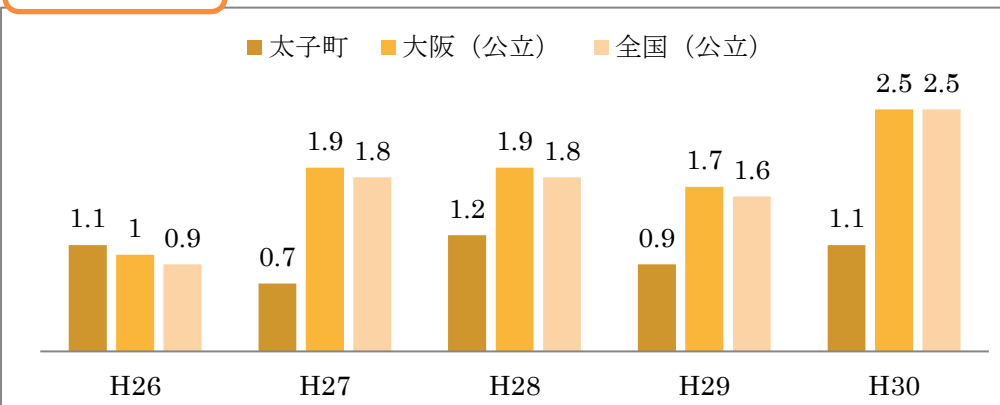
全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較



全体的に全国平均を下回った。算数Aの問題は、第5学年までに身につけておくべき内容であり、算数の基礎的な力の定着を求める必要がある。



無解答率



全国・大阪府の無解答率が高くなってきている中、太子町は、1ポイント前後で推移している。



成果と課題

大きく得意・不得意の分野の違いはないようだが、全体としてのレベルアップが必要である。算数の授業の中で、問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書くなど、自分の考えを深める学習活動が必要である。

